

学校行事を通して育つ子どもたち

十一月六日から二日間、五年生が水俣に学ぶ肥後っ子教室と集団宿泊教室に参加しました。水俣病について学び、差別を見抜き、許さな心育てるとともに、環境について深く考える学習を行いました。あじきた青少年の家では、集団生活の中で協力することの大切さを学び、ペーロン船体験などの活動を通して、仲間との絆を深めました。



明倫

令和 7 年度
第 7 号
文責 大塚真史



十月三十日、荒尾市小学生親睦陸上大会が開催され、市内十校の六年生が参加しました。本校の児童も百メートル走やハイドル走、走り幅跳び、ソフトボール投げ、走り高跳び、リレーなどの競技に出場しました。一人一人が自己記録の更新を目指し、仲間と励まし合いながら全力で競技に取り組む姿に、六年間の成長を感じることができました。



長崎市内のホテルでは、佐賀県武雄市の武雄小学校の六年生に、荒尾の魅力プレゼンテーションで発表しました。武雄市の魅力も聞くこともできました。じゃんけん大会で盛り上がり短い時間でいい交流ができました。二日目はハウステンボスを訪れ、環境に配慮した下水処理の仕組みを学ぶとともに、友達と楽しい時間を過ごし、思い出に残る修学旅行となりました。



十一月二十日から二十一日にかけて、六年生が修学旅行で長崎を訪れました。原爆記念公園や原爆資料館、如己堂、山里小、大浦天主堂、爆心地公園などの見学に加え、田中安次郎さんから被爆体験のお話を直接伺い、平和の尊さについて深く学びました。



十一月二十七日、校内人権集会を低・中・高学年に分かれて行いました。それぞれの学年で、これまで学習してきたことを発表し合い、差別やいじめをなくしていくための行動を考えました。子どもたちは、自身の言動を振り返りながら、相手を思いやる気持ちや仲間として支え合う大切さを再確認することができました。



十一月十八日、校内持久走大会を学年別・男女別で実施しました。当日は快晴に恵まれ、保護者の皆様にも多数ご来校いただき、温かい声援を送っていただきました。子どもたちは、これまでの練習の成果を発揮し、それぞれが自分の目標に向かって最後まで粘り強く走り切る姿を見せてくれました。